光明寺だより

第77号
平成28年1月発行
眞言宗　光明寺
宇都宮市野沢町342
TEL　665-0545
FAX　665-5422

智山勤行式（No.8）

般若心経

①仏説摩訶般若波羅蜜多心経

②観自在菩薩行深般若波羅蜜多時

③照見五蘊皆空度一切苦厄

【口語訳】

①仏さまが説かれた大いなる悟りの智慧の心を説くお経。

②観自在菩薩は深遠な般若波羅蜜多の瞑想に入って行を実践し見極めました。

③自己は主に五つのもの（五蘊）から成り立っていて、そのすべては本質が空であると見抜いたのでした。その結果あらゆる苦厄を克服したのです。

【解　説】

仏教の説く四苦八苦の中に五蘊盛苦という苦しみがあります。五蘊とは、色、受、想、行、識を現します。「色」とは物質的存在という意味です。形あるものの全てです。「受・想・行・識」は心の世界を意味します。「受」は、感覚や知覚などの感受作用を意味します。暑い寒い、旨いまずいなどの五感による感覚です。「想」は、「受」で受けたものを心の中でイメージすることです。「行」は、イメージを意志に移行させることです。「識」は、判断することです。五つの要素のうちのどれかの活動が活発になりすぎてしまい、それを自分ではうまくコントロールできなくなってしまうと言う苦しみが、五蘊盛苦です。それが空だと説いているのが般若心経です。

例えば

【色】綺麗な女性
【受】この人綺麗だなと思う
【想】交際したいと心の中で思う
【行】声をかけてみる
【識】よく見たら左手の薬指に指輪が…

恋は盲目、五蘊をコントロールできなければ周りが見えなくなり新たな問題を起こしてしまうかもしれません。般若心経ではそうならないための方法を説いています。

今後四回にわたり解説をしていきますのでご一読ください。

※智山勤行式は、真言宗智山派がお檀家様向けに作ったお経本です。興味のある方はお寺にお声掛けください。

◀ 山門朝焼け

謹賀新年

今年もどうぞ
宜しくお願いします。

あけましておめでとうございます。檀信徒の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。今年も、当山、護持発展にご協力の程よろしくお願いいたします。

今年は丙申（ひのえさる）年、干支、十二支の九番目になります。なぜ「猿」でなく「申」なんでしょう？　干支をわかりやすくするため、対応する動物を当てはめたためだといわれています。申といえば、日光を思い浮かべます。いろは坂の「黒髪平」で、記念撮影中バックを持って行かれそうになりました。知恵が働き、素早い身のこなしと威嚇、恐れ入りました。申のお尻はなぜ赤い？　一説によれば、健康のバロメーターだとも言われています。申の信仰といえば「庚申様」、猿が庚申の使いとされ、庚申塔には、日光で有名な三猿「見ざる、聞かざる、言わざる」が描かれることが多かったそうです。当地（野沢）でも少し前まで、組内持ち回りで、庚申祭を行っていました。

前向きで、頭の回転が速く、素早い行動をするお猿さんにあやかり、今年はアクション（行動）する年にしたいと思います。

住職記

光明寺四季の諷詠（No.46）

十三佛と私　十首

恵華

○不動釈迦　文珠普賢　なかなかに
　み佛の名　くりかえしゐぬ

○くりかえし　くりかえしつつ　十三の
　み佛さまと　共にいるわれ

○十三の　み佛の名　となえては
　いただきますと　三度の食事

○十三の　み佛様の　御利益と
　九十三の　命ありがたし

○十三の　み佛さまの　名をとなえ
　心やすらぎ　一日のおわる

○緑こき　静櫻の　四年苗
　二本植樹す　薬師堂跡

○二年たち　静櫻は　根のつきて
　四方の枝は　みどりあざやか

○中学の　子等たちよると　十善の
　戒をしるして　来寺をまつも

○十善の　戒をまもりて　己にも
　人にも恥じぬ　人にと掲示す

○庭樹々の　手入れのすみて　大般若
　明日をむかえる　安らぎのあり

不動明王　釈迦如来　文珠菩薩　普賢菩薩
地蔵菩薩　弥勒菩薩　薬師如来　観世音菩薩
勢至菩薩　阿弥陀如来　阿閦如来　大日如来
虚空蔵菩薩　十三御佛南無遍照　合掌

最上三十三観音霊場結願（第二回）参拝報告

「山形県最上川沿いをめぐる心と体を鍛える巡礼の旅」と題し、平成二十七年十月一日（木）早朝午前五時、まだ暗い中、光明寺を出発。東北道を一路古川ＩＣへ、国道四七号を鳴子経由で、午前十時前に三十一番札所光清寺に到着。ご住職、副住職さんの出迎えを受け、本堂、境内を丁寧に案内していただきました。続いて三十分ほど走り、番外札所天徳寺へ。こちらでは、心のこもった御接待を受け、近所の方が持ち寄った、手作りのお漬物などもお安く販売していました。美味しいのであっという間に売り切れ。続いて三十二番明学院に、三十分ほどで到着。順調に御朱印を頂き、瀬見温泉で昼食と温泉、源泉かけ流しのとてもいい温泉で、機会があればまた行ってみたい温泉の一つになりました。お腹を満たし、温泉につかり身と心を清め、いよいよ結願札所三十三番月蔵院には、一時間二十分程で到着。結願札所の名に恥じない、立派な寺院、境内の隅々まで掃除が行き届いていました。本堂内で御接待を受け、奥様手作りの秋茄子の浅漬けを頂きました。（これがまたうまい）午後三時半過ぎ帰路につき、国道十三号、東根ＩＣ、村田ＪＣＴより東北道を南下、宇都宮には午後八時頃に到着しました。

次回は坂東霊場を予定しています。皆様のご参加を、お待ちしています。

住職記

謹賀新年

代表役員	藤村　眞琴
責任役員	工藤　忠道
筆頭総代	荒井　英治
総代	高橋　修一
総代	坂本　明
総代	松本　国彦
会計監査	片山　泰男
会計監査	村田　久男
会計	別井　実
会計	藤村　真行

下金井 世話人	斉藤　幹夫
世話人	中山　栄二
世話人	小杉　哲男
宝木本町 世話人	冨貴沢太一
世話人	藤野　茂雄
世話人	中山　幸彦
世話人	川久保敏男
世話人	田野実征男
世話人	高橋　伸康
世話人	増渕　満
野沢 世話人	斎藤　誠
世話人	山田　健一
世話人	山口　英夫
世話人	中山　利久
世話人	中山　昌司
世話人	新山　洋二
世話人	白石　君郎
世話人	増渕　明久

世話人	中山　信一
大谷 世話人	手塚　幸一
世話人	今泉　美雄
細谷 世話人	森田　道雄
世話人	岩上　芳弘
世話人	荒井　一夫
世話人	田村　勝巳
世話人	大澤　義晴
世話人	村田　和昭
若草 世話人	関　道夫
世話人	横川　秀元
世話人	斉藤　慎輔
戸祭（上中） 世話人	橋本　宏
世話人	藤田　晃
世話人	田村　信一
世話人	金沢　和美
世話人	永井　一郎
世話人	酒沢　芳雄
世話人	田中　啓一
宝木 世話人	今泉　守
世話人	大森　章
世話人	川口　賢一
世話人	井上　俊邦
世話人	井上　明
市内 世話人	荒井　章雄

（順不同・敬称略）

編集後記

◎昨年十二月十日、「栃木中央教区連合会主催花蔵院奉詠大会」が行われました。連合会長に就任したばかりの大役で疲れましたが、何とか成功し、ホッと一息ついたのも束の間、今年の秋は「全国奉詠栃木大会」が栃木県総合文化センター（宇都宮市）で開催されるので、御詠歌三昧の年になりそうです。

◎副住職は智山青年連合会事務局員として、今年秋に「智山青年連合会全国結集栃木大会」が日光山輪王寺に於いて開催予定で、その準備に余念がないようです。

◎同封いたしました「智山御宝暦」是非ご活用下さい。

住職記